中2 歴史 近世 穴うめ（20問）　版Jの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 市の税を免除し、座の特権をなくした政策を（　　）という　　楽市・楽座
（楽市楽座・楽市令 でも正解）

(2) 一揆を防ぐため百姓から武器を取り上げた政策を（　　）という　　刀狩
（刀狩令 でも正解）

(3) 1549年に日本にキリスト教を伝えた宣教師は（　　）だ　　フランシスコ・ザビエル
（ザビエル でも正解）

(4) イタリアから始まった、古代の文化を学び直す動きを（　　）という　　ルネサンス
（文芸復興 でも正解）

(5) 喜望峰を回り1498年にインドに着いたのは（　　）だ　　バスコ・ダ・ガマ
（ヴァスコ・ダ・ガマ・バスコ=ダ=ガマ でも正解）

(6) 島原・天草一揆が起きたのは（　　）である　　1637年

(7) 江戸時代に朝鮮との外交や貿易の仲立ちをしたのが（　　）だ　　対馬藩
（宗氏 でも正解）

(8) 徳川家康が征夷大将軍となったのは（　　）である　　1603年

(9) 5戸ずつまとめて連帯で責任を負わせたしくみが（　　）だ　　五人組

(10) 生類憐みの令を出した5代将軍は（　　）である　　徳川綱吉

(11) 働き手を作業場に集めて分業で製品をつくるのが（　　）だ　　工場制手工業
（マニュファクチュア でも正解）

(12) 農民が団結し年貢の軽減などを求めて起こした行動を（　　）という　　百姓一揆

(13) 8代将軍が定めた裁判の基準となる法律を（　　）という　　公事方御定書

(14) 江戸時代の商工業者がつくり、営業を独占した組合が（　　）だ　　株仲間

(15) 1825年に外国船を打ち払うよう命じたのが（　　）である　　異国船打払令
（外国船打払令・無二念打払令 でも正解）

(16) 18世紀の終わりに寛政の改革を行った老中は（　　）だ　　松平定信

(17) 『東海道五十三次』をえがいた浮世絵師は（　　）である　　歌川広重

(18) 藩が武士の子弟を教育するためにつくった学校を（　　）という　　藩校
（藩学 でも正解）

(19) 杉田玄白らがオランダ語の解剖書をほん訳した本が（　　）だ　　解体新書

(20) 『古事記伝』を書いて国学を大成したのは（　　）である　　本居宣長